

学校運営協議会 議事録

校名	府立千里青雲高等学校
校長名	浅尾 悦司

開催日時	令和 6年 2月 8日(木) 15:40 ~ 16:55
開催場所	府立千里青雲高等学校 1号館1階 地域交流室
出席者(委員)	会長 委員3名
出席者(学校)	校長 教頭 事務長 首席2名 教務部長 進路指導部長 生徒指導部長 特別活動部長 保健部長 共生推進教室コーディネーター
傍聴者	
協議資料	18期生教育課程表 15期生進路中間報告 年間遅刻統計 特別活動部活動報告 保健部活動報告 共生推進教室報告 R5学校評価(案) R6学校経営計画(案) R5学校教育自己診断結果・分析
備考	

議題等(次第順)
<p>(1) 校長挨拶</p> <p>(2) 会長挨拶</p> <p>(3) 学校報告</p> <p>ア. 学校運営協議会への意見書の提出 (令和5年 11月7日より令和6年2月7日まで なし)</p> <p>イ. 教務部 18期生教育課程報告</p> <p>ウ. 進路指導部 15期生進路報告</p> <p>エ. 生徒指導部 生徒指導状況報告</p> <p>オ. 特別活動部 特別活動関係報告</p> <p>カ. 保健部 保健関係報告</p> <p>キ. 共生推進教室 共生推進教室報告</p> <p>ク. 令和5年度学校評価及び令和6年度学校経営計画(案)</p> <p>ケ. 学校教育自己診断結果報告</p> <p>コ. その他</p> <p>(4) 意見交換</p> <p>(5) 校長謝辞</p> <p>(6) 諸連絡</p>

協議内容・承認事項等(意見の概要)

○教務部

18期生教育課程実施計画

新カリ1年目から多くの変更はなし。

来年度で3年目となり、大学入試科目についてもはっきりとわかってくるので、対応できるように改善していきたい。

○進路部

15期生進路中間報告

例年に比べ、国公立志望者が8名と多い。

冬の勉強会(12月末)実施。

進路決定状況 137名が進路決定 残り90名は一般受験

産近甲龍の公募推薦・AO 入試合格者が例年に比べて少ない。全国的なデータと比較して分析し、進路指導に活かしたい。

○生徒指導部

年間遅刻統計

始業遅刻件数は1月末時点で目標1000件に対し、1223件在籍706名

北摂地区の他校に比べると少ない数になっている。

その他 SHR 業間の遅刻件数についてはやや増加。

○特別活動部

12月 トレーニング講習会 実施

陸上部 3年生女子 全国大会出場

その他 近畿大会(陸上部、水泳部) 全国大会(ダンス部)へ出場するなど積極的な参加が見られる一方、加入率では80%にやや届かず。これに関しては特別活動部としても検討事項。

《生徒会執行部》

ペットボトルキャップの回収・学校説明会への司会、学校紹介での参加・募金活動への参加。

休日の部活動における登下校時の服装について検討している。

○保健部

各種検診 滞りなく実施できた。

環境管理 薬剤師のもと検査実施。

安全管理 避難訓練2回 救急講習会(職員)実施。

保健委員生徒の役割を大掃除、健康診断時にあてて活動を行った。

学校保健委員会 防災アドバイザーを講師に、地震発生時の学校の動きを勉強した。

各学年 HR

1年 性教育 2年 薬物乱用防止教育 3年 がん教育 を実施した。

○共生推進教室

3学年9名、クラブにも加入しながら1年間活動できた。

3年生進路先 短期大学1 専門学校2

《新たな取り組み》

とりかい高等支援学校文化祭への参加・交流。

教員連携として豊能地区小中学校の教員向けに共生推進教室の説明会を実施。

共生推進教室生の保護者懇談会を実施。

《今後の課題》

年々進路先が多様化しており、進学先などとの情報交換、引き継ぎも必要か。
授業において個別にサポートが必要な生徒もおり、学習サポーターの時間数を増やした。クラスメイトやサポーターの支援もあり落ち着いて授業参加できた。

○学校教育自己診断結果・分析

《生徒結果》

非常に良かった。昨年は多くの項目で肯定回答が減少した影響もあるが、45項目中の36項目でプラスに転じた。

2年連続で上昇した項目も15項目あった。

特に授業における満足度はすべて上昇している。

「授業の中で自分の考えをまとめる。話したりする。」「学校でのさまざまな活動を通して自分の考えをまとめる力が身についた」といった項目が上昇していることは新しいカリキュラムに対応して教員が工夫をした結果であり、非常に喜ばしい。

「先生は親身に悩みに相談に乗ってくれる」・・・増加していることは教育相談に力を入れた効果か。

進路のキャリア教育についても満足度は大きい。

生徒指導の項目が昨年減少したが、今年はまた上昇に転じた。長期的にみると、年々指導への納得感は増加してきている。

《保護者結果》

昨年と比べて大きな増減はなし。

2年連続で5%以上減少した項目は2項目あり、その中でも「学校の生徒指導の方針について共感できる」(生徒アンケートでは上昇しているが)のポイントが減少していることについては、保護者への丁寧な説明が必要であろう。

授業・学校生活に対する評価、PTA 活動に対する評価も大きく上昇している。

学校 HP・メール配信に対しても肯定的な意見が多かった。

インスタグラムについても各クラブのものなど含めて投稿件数が多く、情報提供に努めている。

○R5学校評価 R6学校経営計画

《学校評価》

部活動加入率75%・・・5%減少したことについては危機感を感じる。もう一度80%を目標に方策を考えていきたい。

ボランティア参加179名・・・コロナ明けたことも要因であるが、この機会を増やしていきたい。

クラブ・地域との交流68回・・・大きく増加した。

出前授業・高大連携・・・昨年よりも機会増加。小学生対象のプログラミング教室も実施した。

遅刻者数・・・目標10%減少に対し、13%減少した。

会議資料のペーパーレス化・保護者配付文書のデジタル化により働き方改革を推進。

学校説明会参加中学生の満足度90%以上を達成。引き続き学校説明会を大事にしていきたい。

ブログ更新375 インスタグラム538についても目標を上回る成果をあげた。

《経営計画》 大きくは変更していない

新たなプロジェクターが設置されることで、より ICT を利用した授業への研修が必要性感じている。

学校教育自己診断(生徒)「自分が決めた進路に満足」項目について95%を目標にする。

中期的な目標において、産近甲龍および四女子大合格者数を令和8年度も 100 名以上を維持する。

学校教育自己診断(教員用)もふまえ、教職員向け人権研修の内容および方法を再検討する。「方法」を追加。

質疑応答・意見交換

12月末時点での決定者数が137というのは他の学校との比較も含めて多いのか。

⇒他校では年内決定者がわずかな学校もあれば、ほぼすべての生徒が決定している学校もあり、さまざまである。千里青雲においては例年より少し多いぐらいであり、あまり変わらない。

中学生保護者にむけて進路の状況など千里青雲をアピールするにあたってどう説明すればいいか。(例えば、指定校推薦が多くていいなど)

⇒一般入試まで頑張っただけの層の生徒が指定校推薦に流れてしまうこともあるが。

入学後、コツコツとがんばって取り組んで来た生徒が報われるという点では、指定校推薦を選択肢として伝えられていない面もある。(毎年同じ指定校が来るとは限らないので、1年次から指定校推薦をめざそうとは言いつらいところもある。)

生徒への声掛けの仕方については工夫していこうと思う。

入学後に学力がとてよく上がったのは先生方の授業や勉強合宿のおかげ。

⇒他校に比べて保護者対象の進路説明会の回数も多い。勉強合宿、大勉強会などの取り組みもアピールできる点である。

私立高校入試を終えると、本命の公立高校入試となるため、動向は変わっていく傾向がある。

子ども食堂を箕面面でスタートしたが、高校生がボランティアに来てくれる。

大学生ボランティアの数もどんどん減っている(アルバイトに行ってしまう)ので、高校生を引き込んでいきたい。夕食を食べていない、朝ごはんも食べていない小中学生がいる。

高校生のボランティア参加には学校の許可がいるのか。保険などはどうなっているか。

⇒保険については実施団体がかけていると思われる。

生徒指導において遅刻の件数が少ないことに関して、楽しそうに学校に入る生徒をよく見るが、朝の取り組みや声掛けなどで特におこなっていることや、部活動顧問の業務量平準化、一斉定時退庁への具体的な取り組み、方策を教えてください。

⇒朝に関しては正門にて挨拶運動、各学年フロアにて教員が声掛けを行っている。こちらからの声掛けでコミュニケーションを取れるようにしている。

活動頻度、専門性に合わせて顧問の数を調整し、複数の顧問で付き添いの分担をすることで負担を軽減している。

一斉定時退庁については部活動を休みにするなどして実施できるようにしている。

学習面、生活面での評価が高くなってよい。学校の指導方針についても過去に比べて良くなっている。

学校評価は良かった中で、それをふまえた次年度の経営計画。

学校教育自己診断はペーパーではなくデジタルなのか。

⇒デジタルにしたが、昨年度に比べると回答率が下がってしまったことは検討事項である。

HPのみならず、SNSの閲覧についても自己診断で聞いてみるのもいいのでは。